

## 「地域密着型サービスの整備について」の参考資料

第8期計画策定に向けたヒアリング等の中から抜粋した、**地域密着型サービス**に関連する意見等は以下のとおり。

### 1. 地域包括支援センター別ヒアリング結果より

- （今後取組が必要なこと）**定期巡回・随時対応型訪問介護看護、小規模多機能型居宅介護**の利用を促進する。
- （今後取組が必要なこと）本来は、**定期巡回・随時対応型訪問介護看護、小規模多機能型居宅介護**が充実していると支援につながるのだが、数もケアマネジャーの成功体験も少ないので、使いにくくなっている。
- 日中は既存の民間サービスで支援できるが、**夜間は公的なサービスがないと厳しい。**
- （今後取組が必要なこと）**小規模多機能型居宅介護**を利用した好事例を共有すべき。

### 2. グループインタビュー結果より

- 民間サービスとの連携。**定期巡回**にできない部分のサービスがあるので、うまく連携し、利用していきたい。人材バンクやくらしヘルパーとの連携も検討。【定期巡回サービス提供事業者】
- ターミナル期でも**安心して住み続けられる医療連携**、重度化への対応が必要。【サービス付き高齢者向け住宅運営事業者】
- ITの活用、ICT化。専門職の巡回や外部との連絡が簡便で機能性の高い住まいや、遠隔地から患者の様子を確認できる在宅見守りシステムが必要。【理学療法士協会】

3. 介護保険事業計画の作成に資する調査結果の活用方法に関する調査研究事業報告書(三菱 UFJ リサーチ & コンサルティング)

「西東京市のサービス提供体制の構築方針の検討」より

(1) 定期的かつ高頻度の見守り体制の構築(定期巡回など)

○今後、中重度の高齢者が増えた場合には、定期的な医療系サービスも必要であるため、介護と看護を一体的に提供する「**定期巡回・随時対応型訪問介護看護**」が果たす役割は大きいと考えられる。

○**定期巡回・随時対応型訪問介護看護**は、介護職員が、事業所内の看護職に助言や指導を求めやすい環境であるため、介護職の育成にもつながると考えられる。

○(しかしながら) **小規模多機能型居宅介護**と**定期巡回・随時対応型訪問介護看護**では、身体介護よりも生活援助の時間帯が長いという結果があり、中重度の利用者の生活を支えるには、より身体介護に重点を置いた働きが必要となる。

(2) 看取り・医療ニーズに対応するサービスの整備

○また、居宅においては、**看護小規模多機能型居宅介護**や、**小規模多機能型居宅介護+訪問看護**の連携により、今後増加する看取り・医療ニーズに対応していくための体制を構築することが考えられる。